



消防業務の取り組みや課題を力説 消防職員意見発表会

1月16日、市の消防職員が業務で体験したことや、市民の皆さんとのふれあいの中で感じたことなどを話す意見発表会を、消防本部（西今町）で行いました。

各所属を代表した消防職員5人は、「ビデオ通話を利用した119番回線の導入提案」や「施設の救急対応能力向上の必要性」などについて、力強く発表しました。



ホストタウン登録している国をもっと知ろう♪ スペイン文化講座

1月26日、アル・プラザ彦根（大東町）でスペインの美術文化に触れる講座が開催され、約20人が参加しました。市の国際交流員であるアルホナ・ゴメス・アドリアンさんが講師となり、スペイン語のあいさつや美術史などを紹介しました。

後半では、スペインのトランプを使ったゲームを行い、参加者の1人は「数字の種類など、日本のトランプと違うところがあっておもしろかった。新たな発見でした」と話すなど、みんな楽しみながらスペインの文化に親しんでいました。



【ひこね地域おこし協力隊の仕事って？】

移住者・移住希望者の支援を行い、彦根市への移住を促進することです。隊員は市内に居住しながら、地域の中でも活動を行ったり、SNS（交流サイト）などを活用したりして、彦根の魅力を市内外に発信します。

「ひこね地域おこし協力隊員」に 1月20日から小林 由季さんが着任

埼玉県で会社員をしていました。「地方移住フェア」に参加した時、前任の隊員の方に出会い、その後実際に彦根を案内していただきました。市内を見てまわる中で、彦根は古いものと新しいもの、昔と今が混ざり合っている場所だと感じ、観光だけでは知らなかった街並みや暮らしに惹かれました。これから彦根のことを学んで、いろいろな魅力を発信していきますので、皆さんよろしくお祈りします。



▶「広報ひこね」は大豆油インキを包巻した植物油インキを使用しています。
▶廃棄する場合は古紙回収に出してください。
▶この「広報ひこね」は52,500部作成し、1部当たりの単価は9円（1円未満切り捨て）です。ただし、原稿作成・編集などにかかる職員の人工費は含まれていません。

